



こんにちは
東郷まさあきです

日本共産党

ご意見・ご要望をお寄せください
野洲市比江864(☎589-4158)
2018年11月18日 No.115

滋賀県議会に請願書を提出します

署名にご協力を



2024年 滋賀国体 巨額費用削減し県民の暮らし守れ

2024年開催の滋賀国体に、なんと500億円もの税金がつぎ込まれようとしています。しかも、まだ十分に使える現施設を壊して新しい施設を建設するというのです。一方で、子ども食堂補助金の廃止など、県民の福祉・医療切り捨てが目白押しです。『国体見直し・暮らし守れ』の請願署名をしますのでご協力ください。

国体費用に500億円

三日月知事は「県財政が大変」と言いながら国体に500億円もつぎ込もうとしています。今でも使える施設を壊して新規整備する壮大な無駄使いです。

- ◆陸上競技場(彦根) 200億円
- ◆県立体育館(大津) 100億円
- ◆草津市立プール(草津市) 県が2分の1補助 100億円

近年開催の国体費用(施設整備費)

2014年 長崎県	108億円
2015年 和歌山県	201億円
2016年 岩手県	25億円
2018年 福井県	125億円

福祉はバツサリ切り捨て

滋賀県は来年から「行革だ!」と言って、暮らし・福祉・農業など、実に582項目をバツサリ切り捨てようとしています。

- ◆子ども食堂の補助金廃止 1000万円
- ◆県立病院運営費縮小 5700万円
- ◆商工会等への経費助成縮小 5141万円
- ◆環境こだわり農業補助縮小8946万円

県民のために税金使えば実現

- 中3まで医療費無料化 10億円
- 特養老人ホーム建設(80人定員) 9億円
- 養護学校建設(150人規模) 26億円

署名にぜひともご協力ください。ご一報いただければお伺いさせていただきます。
よろしく願い申し上げます 東郷正明(電話589-4158)

巨額な国体費用を削減し 県民のいのち・暮らし応援の予算を求める署名

滋賀県議会議員 様

【請願趣旨】

景気が良いと言われる一方、働く人の賃金は上がりず県民の経済格差は広がっています。また、国の社会保障切り捨てや消費税の10%引き上げなどが続き、さらに豪雨や台風など自然災害が追い打ちをかけるなどで、医療や教育、福祉など命と暮らしに対する県民の要求はかつてなく高まっています。

しかし、三日月県政は県民の願いには「お金がない」と背を向ける一方で、2024年開催予定の「第79回国民体育大会(以下、国体)の施設整備等に総額511億円にも及ぶ税金をつぎ込もうとしています。県の財政見込みでは、今後800億円もの赤字が見込まれることから、今ある制度も「行革」の名で切り下げられようとしており、県民の願いは遠のくばかりです。

全国知事会は、国体の開催費用で自治体財政が圧迫された苦い経験から平成14年に緊急決議をあげ、国体の「簡素・効率化」をすすめてきました。この間開催された国体は既存施設の活用や他府県施設の利用など、施設整備の費用を節約してコンパクトな国体を成功させています。滋賀県も当初は「財政均衡のもとで国体開催をめざす」としていましたが、施設整備費だけでも同規模の倍以上という巨額となり、県の財政危機はさらに深刻なものになります。

500億円を超える施設整備費の中心は200億円の主会場・陸上競技場(彦根市)と100億円の県立体育館(大津市)です。軟弱地盤の谷底など、いずれも土地造成に巨額の費用が必要な上、国体終了後の施設利用(交通アクセスや需要見込み)を考えた場合、課題山積です。施設整備費用を他府県並みに半減させようとするれば、この二つを抜本的に見直しがありません。いま県内にある陸上競技場や体育館でも部分的な修繕や客席・サブグラウンド・駐車場を仮設すれば立派に国体を開催できます。節約したお金で子どもの医療費無料化を拡充し、国民健康保険料(税)を引き下げられます。施設をつくるなら、マンモス化で困難さを増す特別支援学校を新增設すべきです。

今なら間に合います。県民世論を結集すれば、国体の成功と暮らしを守り、県民の願いを実現することは両立できます。私たちは、国体の施設整備費を削減し、暮らしを守るために以下(次項)の3点について要望します。

【請願事項】

- ① 予算編成においては、県民の暮らしを応援し、切実な県民要求を実現すること。
- ② そのために、500億円を超える国体施設整備費等を他府県並みに半減すること。
- ③ 巨額費用の要因である彦根市の主会場・陸上競技場(200億円)と大津市の県立体育館(100億円)の建設計画を抜本的に見直すこと。

氏名	住所

キ
リ
ト
リ
線